



2020年2月6日

各 位

会社名	日鉄ソリューションズ株式会社
代表者名	代表取締役社長 森田 宏之 (コード：2327 東証第一部)
問合せ先	総務部長 三輪 和彦 (TEL. 03-5117-4111)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2019年10月29日に発表した「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年2月6日)付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正の箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 日鉄ソリューションズ株式会社

コード番号 2327 URL <https://www.nssol.nipponsteel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小松 英樹

TEL 03-5117-4111

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	136,759	15.6	14,190	29.5	14,196	26.9	8,727	27.4
2019年3月期第2四半期	118,277	7.3	10,955	11.7	11,185	9.5	6,850	8.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 10,059 百万円 (△39.4%) 2019年3月期第2四半期 16,600 百万円 (40.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	95.39	—
2019年3月期第2四半期	72.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	246,494	153,211	59.9
2019年3月期	232,779	145,901	60.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 147,663 百万円 2019年3月期 140,448 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2020年3月期	—	32.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	293,500	15.0	29,500	16.2	29,500	14.3	19,300	15.5	210.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	94,704,740 株	2019年3月期	94,704,740 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,204,227 株	2019年3月期	3,204,145 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	91,500,545 株	2019年3月期2Q	94,585,599 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	11
(追加情報)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(株主資本等関係)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復しております。

企業の業況判断は製造業を中心に慎重さが増しているものの、企業収益は高い水準で底堅く推移しており、顧客企業におけるシステム投資は堅調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、事業部間の密接な連携による営業活動展開や本体、子会社が一体となった開発実行体制の拡充など、お客様とのリレーションシップの更なる強化に向けた取組みを推進いたしました。

日本製鉄㈱向けシステム対応につきましては、同社の高度IT活用に向けたデータ解析・AI開発プラットフォーム「NS-DIGTM（エヌエスディグ）」の構築支援等を行うとともに、商号変更対応および日本製鉄グループの事業体制強化に向けた取組みを進めました。

サービスビジネスの強化につきましては、日本オラクル㈱のOracle Cloudと当社のマネージドクラウド・サービス「absonne（アブソヌ）」を接続したマルチクラウドサービスの提供を開始し、サービスメニューの拡充を図りました。

デジタルイノベーションの展開につきましては、データ利活用によるビジネス戦略の立案や新しいサービスの創出をスピーディーかつ仮説検証的に行うため、直感的なデータ分析を可能とする米国ThoughtSpot社のプラットフォーム「ThoughtSpot（ソートスポット）」を採用し、ビジネスユーザー自身によるデータ分析を支援するデータアナリティクスソリューションに取り組みました。また、工場等の製造現場における安全管理のIoXソリューション「安全見守りくん」のラインナップを拡充し、お客様のニーズへ柔軟に対応するためのエントリーモデルの販売を開始しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、136,759百万円となり、前年同期（118,277百万円）と比べ18,482百万円の増収となりました。経常利益は、増収により売上総利益が増加し、14,196百万円と前年同期（11,185百万円）と比べ3,010百万円の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間をサービス分野別（業務ソリューション事業、サービスソリューション事業）に概観しますと、以下のとおりであります。

（業務ソリューション事業）

業務ソリューション事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は89,777百万円と前年同期（75,014百万円）と比べ14,762百万円の増収となりました。

産業、流通・サービス分野

産業、流通・サービス分野向けにつきましては、輸送、製造業、旅行、小売りが堅調で、加えて大規模基盤案件対応等により、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

金融分野

金融分野向けにつきましては、プロダクトを中心に、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

公共公益分野

公共公益分野向けにつきましては、官公庁向けの基盤構築案件対応等により、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は46,982百万円と前年同期(43,262百万円)と比べ3,720百万円の増収となりました。

ITインフラ分野

ITインフラ分野につきましては、マルチクラウドおよびDaaS事業の拡大や、ITインフラ連携によるプロダクト販売等により、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

鉄鋼分野

日本製鉄㈱向けにつきましては、各製鐵所での高度IT活用による安定生産、品質向上および業務の高度化実現に向けた対応を進めるとともに、商号変更対応および日本製鉄グループの事業体制強化への対応に取組み、売上高は前年同期と比べ増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①貸借対照表

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末232,779百万円から13,714百万円増加し、246,494百万円となりました。主な内訳は、預け金の増加17,253百万円、受取手形及び売掛金の減少△3,832百万円、仕掛品の増加1,458百万円であります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末86,878百万円から6,404百万円増加し、93,283百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金の増加5,322百万円であります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末145,901百万円から7,309百万円増加し、153,211百万円となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益8,727百万円、配当金の支払2,516百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,015百万円であります。その結果、自己資本比率は59.9%となります。

②キャッシュ・フロー

(キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、66,144百万円となりました。前第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額が4,074百万円であったのに対し、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額は17,707百万円になりました。各活動区分別には以下のとおりであります。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

前第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益11,185百万円、減価償却費2,365百万円、たな卸資産の増加△6,263百万円、企業間信用4,293百万円、法人税等の支払額△3,778百万円等により10,841百万円となりました。一方、当第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益14,073百万円、減価償却費2,519百万円、たな卸資産の増加△1,488百万円、企業間信用9,170百万円、法人税等の支払額△5,283百万円等により22,237百万円となりました。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

前第2四半期連結累計期間は、有価証券の償還による収入1,000百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出△1,420百万円、投資有価証券の取得による支出△1,030百万円等により△1,426百万円となりました。一方、当第2四半期連結累計期間は、有形及び無形固定資産の取得による支出△2,021百万円、投資有価証券の取得による支出△1,055百万円、投資有価証券の償還による収入2,000百万円等により△1,233百万円となりました。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

前第2四半期連結累計期間は、配当金の支払額△2,367百万円、自己株式の取得による支出△2,166百万円等により△5,291百万円となりました。一方、当第2四半期連結累計期間は、配当金の支払額△2,516百万円等により△3,274百万円となりました。

(資本の財源、資金の流動性に係る情報)

当社グループの主要な資金需要は、材料費、外注費、労務費、経費、販売費及び一般管理費等の営業費用並びに設備投資等であります。これらの資金需要につきましては自己資金により充当しております。

手許の運転資金につきましては、当社及び一部の国内子会社において当社のキャッシュマネジメントシステム(CMS)を導入することにより、各社における余剰資金を当社へ集中し、一元管理をしております。また、当社は、日本製鉄㈱のCMSを利用しており、当第2四半期連結会計期間末は62,638百万円を預け入れております。

突発的な資金需要に対しては、大手各行及び親会社である日本製鉄㈱に対し当座借越枠を確保することにより、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の連結業績予想に対し増収増益の見込みとなったため、2019年7月30日に公表した通期の連結業績予想を次のとおり変更いたしました。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	286,000	27,200	27,500	18,000	196.72
今回修正予想（B）	293,500	29,500	29,500	19,300	210.93
増減額（B-A）	7,500	2,300	2,000	1,300	14.21
増減率	2.6%	8.5%	7.3%	7.2%	7.2%
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	255,116	25,385	25,812	16,713	178.44

上記に記載した業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,256	3,716
預け金	45,384	62,638
受取手形及び売掛金	57,181	53,348
仕掛品	29,674	31,133
原材料及び貯蔵品	10	21
関係会社短期貸付金	12,000	12,000
その他	1,993	1,865
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	149,478	164,702
固定資産		
有形固定資産	18,921	19,133
無形固定資産		
のれん	3,854	3,621
その他	2,478	2,158
無形固定資産合計	6,333	5,780
投資その他の資産		
投資有価証券	45,554	46,116
その他	12,539	10,807
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	58,047	56,877
固定資産合計	83,301	81,791
資産合計	232,779	246,494
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,029	24,352
未払法人税等	5,329	5,081
前受金	20,597	22,477
賞与引当金	8,973	8,950
その他の引当金	1,655	2,311
その他	13,043	11,682
流動負債合計	68,629	74,856
固定負債		
役員退職慰労引当金	130	114
退職給付に係る負債	9,724	9,646
その他の引当金	—	215
その他	8,394	8,450
固定負債合計	18,249	18,427
負債合計	86,878	93,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,952	12,952
資本剰余金	9,950	9,950
利益剰余金	103,842	110,054
自己株式	△10,026	△10,026
株主資本合計	116,719	122,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,672	24,687
為替換算調整勘定	56	44
その他の包括利益累計額合計	23,728	24,732
非支配株主持分	5,452	5,547
純資産合計	145,901	153,211
負債純資産合計	232,779	246,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	118,277	136,759
売上原価	※2 93,716	※2 108,259
売上総利益	24,560	28,499
販売費及び一般管理費	※1,※2 13,605	※1,※2 14,309
営業利益	10,955	14,190
営業外収益		
受取利息	80	89
受取配当金	236	213
持分法による投資利益	—	22
その他	24	40
営業外収益合計	341	365
営業外費用		
支払利息	5	4
持分法による投資損失	6	—
固定資産除却損	35	6
為替差損	11	15
事業撤退損失引当金繰入額	—	269
その他	53	63
営業外費用合計	111	359
経常利益	11,185	14,196
特別損失		
オフィス整備費用	—	122
特別損失合計	—	122
税金等調整前四半期純利益	11,185	14,073
法人税等	4,098	5,015
四半期純利益	7,086	9,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	235	329
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,850	8,727

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	7,086	9,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,610	1,015
為替換算調整勘定	△96	△12
その他の包括利益合計	9,514	1,002
四半期包括利益	16,600	10,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,369	9,731
非支配株主に係る四半期包括利益	230	327

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,185	14,073
減価償却費	2,365	2,519
のれん償却額	232	232
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	△22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	540	△78
受取利息及び受取配当金	△316	△302
支払利息	5	4
持分法による投資損益 (△は益)	6	△22
固定資産除却損	35	6
売上債権の増減額 (△は増加)	7,081	3,827
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,263	△1,488
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,788	5,342
その他	2,258	3,131
小計	14,308	27,222
利息及び配当金の受取額	317	303
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△3,778	△5,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,841	22,237
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	1,000	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,420	△2,021
投資有価証券の取得による支出	△1,030	△1,055
投資有価証券の償還による収入	—	2,000
その他	23	△156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426	△1,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,166	△0
配当金の支払額	△2,367	△2,516
非支配株主への配当金の支払額	△222	△232
リース債務の返済による支出	△535	△524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,291	△3,274
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,074	17,707
現金及び現金同等物の期首残高	46,682	48,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 50,757	※1 66,144

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
税金費用の計算	
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。	

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
実在性を確認できない取引に関する事項	
<p>当社は2019年11月中旬、国税当局による税務調査の過程で、当社の一部の物販仕入販売型取引に関し、その実在性に疑義が生じたことから特別調査委員会を設置し調査をいたしました。その結果、実在性を確認できない取引が明らかとなったため、当該取引を取り消し、入金額及び出金額を仮受金46,404百万円及び仮払金43,478百万円として計上するとともに、その純額2,926百万円をその他固定負債に含めて表示しております。</p> <p>また、上記の他、受発注済みの未処理案件があり、当該案件の提出日後の状況によっては当社の財政状態や経営成績に影響を与える可能性があります。</p>	

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料諸手当	4,241百万円	4,368百万円
賞与引当金繰入額	1,510百万円	1,661百万円
退職給付費用	318百万円	338百万円
役員退職慰労引当金繰入額	16百万円	13百万円
減価償却費	64百万円	62百万円
のれん償却額	232百万円	232百万円
営業支援費	1,812百万円	1,906百万円
貸倒引当金繰入額	△4百万円	△1百万円

※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
	861百万円	892百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	3,783百万円	3,716百万円
預け金勘定	47,173百万円	62,638百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△199百万円	△210百万円
現金及び現金同等物	50,757百万円	66,144百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月11日 取締役会	普通株式	2,367	25.00	2018年 3月31日	2018年 6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月30日 取締役会	普通株式	2,586	27.50	2018年 9月30日	2018年 12月3日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年8月2日開催の取締役会決議に基づき、取得株式数4,700千株、総額10,000百万円を上限として自己株式の取得を進めております。

当第2四半期連結会計期間末時点で、632,800株、2,165百万円の自己株式の取得を行っております。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,166百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,191百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月10日 取締役会	普通株式	2,516	27.50	2019年 3月31日	2019年 6月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月29日 取締役会	普通株式	2,973	32.50	2019年 9月30日	2019年 12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

当社及び当社グループは情報サービス単一事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	72円43銭	95円39銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	6,850	8,727
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	6,850	8,727
普通株式の期中平均株式数(株)	94,585,599	91,500,545

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。